

# 令和 5年度 保護者向け 風の丘 評価表

公表：令和 6年 3月 22日

多機能型児童通所支援事業所 風の丘

保護者数 30名、回収数 21名、割合 70%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	5			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2		1	
	③	生活空間は、わかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切にされているか	20			1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	21				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21				
	⑥	児童発達・放課後デイ支援計画等には、児童発達・放課後デイ支援ガイドライン等の「提供すべき支援」「本人支援及び移行支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21				
	⑦	児童発達支援支援計画に沿った支援が行われているか	20	1			
	⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	20	1			
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	6	3	8	

保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				
	⑪	児童発達・放課後デイ支援ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達・放課後デイ支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされているか	21				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	12	4	1	4	
	⑬	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	21				
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2			
	⑮	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	6	7	
	⑯	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	1			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や常時予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1	1	1	
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	18	2		1	

非常時の対応	⑳	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	2		4	
	㉑	非常災害の発生にそなえ、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1		7	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	20	1			
	㉓	事業所の支援に満足しているか	21				

○保護者様からのご意見

- ・急きよの利用でも柔軟に受け入れて下さることが多くて、いつも助かっています。有難うございます。
- ・楽しく通所していて、子どもにとって安心できる場所になっています。子どもに合わせて接して頂き、これまでの成長につながっていると思います。
- ・本人はもちろん、家族みんなが風の丘に支えていただいている思いです。
- ・保護者同士の交流は風の丘の中では難しいですが、他の施設利用時などに「風の丘の〇〇君のお母さんですか？」と声をかけていただく機会があり、つながることが出来たりしています。
- ・日々お忙しい中でも報告書から活動内容や食事の内容、またLINEからも情報を頂けてとても嬉しいです。
- ・出かける時に、泣いたりした事は無いので、きっと楽しみにしているんだと思います。
- ・いつも笑顔で帰ってくるので「楽しかったのね」と感じています。

○検討課題、改善策

- ・幼稚園や保育園と交流や連携・意見交換は少しずつですが、実施しております。
- ・父母会に関しては、令和6年4月21日(日)に開催予定です。
- ・火災・地震・災害時の避難訓練は年2回(6月と10月)実施しておりますので、連絡帳や会報にてもっと分かりやすいように連絡したいと思います。
- ・暖かく、心温まるお言葉も頂き、ありがとうございました。職員一丸となりさらなる良質のサービス提供と療育を心がけていきたいと思ひます。

令和 5年度 風の丘 職員自己評価表

令和6年 3月22日 公表

		チェック項目	はい	いいえ	改善項目・工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	6	利用者が多い時は湯どうスペースが十分とれない。 昼寝場所が狭くなりやすい。
	②	職員の配置数は適切である	12	6	時々職員不足がある 保護者の都合に合わせてながら多くの勤務変更和する
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	2	浴室狭く利用者や介護者怪我や事故につながりやすい。 介護者の身体的負担も大きい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	14	4	エアコン・トイレ・風呂場の水回りを業者が専門に年1～2回依頼してほしい。
業務改善	⑤	常務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	16	1	スタッフ間の意見交換する場がもう少し出来るといいと思う。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	15	1	評価表の集計など公表されない時がある。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	15	1	ホームページや広報で結果を公表している 保護者の意見要望に応じて関わり方を改善している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務会改善につなげているか	16	3	医療ケアの事業所が少なく的確な評価がえられない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16	1	施設内研修会を毎月実施し外部での研修会も積極的に勧誘している

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成しているか	18		自発管と担当で密に連携を取っている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	19		自発管と担当で実施している
	⑫	児童発達・放課後デイ支援計画には、児童発達・放課後デイ支援のガイドラインの「提供すべき支援」、「本人支援及び移行支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内が設定されているか	16		特に担当が積極的に観察をし自発管と相談・連携をし支援内容の設定を行うようにしている
	⑬	児童発達・放課後デイ支援計画に沿った支援が行われているか	15	1	医療ケア、重心、発達障害児童を接点を持てるよう支援している
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	16	1	保育士・児童指導員で協力してプログラムを工夫している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	1	保育士・児童指導員で協力してプログラムを工夫している
	⑯	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適時組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	16		医療ケア児の支援計画は保護者と連携しながら作成している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	19		日直職員にて役割分担を毎日決めている 毎日開始前連絡をしている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	14	5	帰り支度のバタバタ時を避け各職員個別に時間前に打合せ反省をするようにしている
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16	1	PCの申し送りを活用
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	17		医療ケア別のモニタリング、見直しをしている	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児童支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	17	1	自発管と担当者が参画
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	19		市・学校・保健所と連絡を取りながらケアを組見立てている
	㉒	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	18		主治医・市・学校・保健所と連絡を取りながら連携して支援をしている
	㉓	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	17		主治医とも相談・指示に対して密に相談している 保護者との連携も密にしている
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	2	㉑と同じ
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	16	2	小学校や特別支援学校においても㉑と同じ
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	2	計画修正に担当者が係る事でコロナ禍での計画を見直すことが増えた
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	12	コロナ禍でほとんど出来ないが大集団での機会を作りたい
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13	1	自発管と担当者が参画
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18		保護者との関りが多くなった

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	10	4	保護者に寄り添った支援をもっと心がけたい
保護者への説明責任等	③②	運営規定利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12		利用開始や利用変更の都度丁寧な説明をしている
	③③	児童発達・放課後デイ支援ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達・放課後デイサービス支援計画の同意を得ているか	19		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	1	担当者との相談する機会が増えた
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	10	重心・医療ケア児・発達障害児の障がいの特性に合わせた連携をしている
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17		毎回工夫を凝らしながら、利用の雰囲気わかる様に工夫をしている
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	18		特に気を使っている
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	18		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	12	コロナ禍の為安全面を考慮して部外者との関りある行事はしなかった

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15		マニュアルは玄関に設置し何時でも閲覧できる
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	13		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16		医師の指示や保護者と連携している
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16		ヒヤリハット報告書作成し会議で共有している
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14		研修の機会を出来るだけ多くの職員に与えている
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	1	身体拘束なしの宣言をしている

- 電話連絡以外の  
電連絡以外の方法で療育支援・保護者相談を強化し連携・連絡を多方面で行う必要がある。
- 職員のスキルアップ研修や相互連携と協力を積極的に行い、良質な療育環境・勤務環境を職員が一丸となり実施していきます。本年はオンライン研修が殆どだったので研修が少なかったため、外部研修への参加は少なかった。
- 医療ケア児、重度心身障害者の療養を積極的に実施し、保護者の負担と不安を出来る限り軽く出来る様療育、医療ケアを継続的に実施している。